

## 1.1. サンプル 11

JDBC-BC を使用してデータベースの参照および更新を行う手順を、サンプルアプリケーションを例にして説明します。

このサンプルは、WebOTX ESB をマルチプロセスモードで動作させることを前提としています。

この項で説明する手順は次のとおりです。

- サンプルのインストール
- ドメインの起動
- アプリケーショングループとプロセスグループの作成と起動
- JDBC データソースの登録
- サービスアセンブリの配備と開始
- クライアントアプリケーションのコンパイル実行

### 1.1.1. サンプルのインストール

JDBC-BC のサンプルアプリケーションは、WebOTX マニュアルのインストールに伴って、次の場所に配置されますので、zip ファイルを展開してください。

<WebOTX マニュアルインストールディレクトリ>%samples%esb%esb.zip

#### ファイル構成

- ・ 11%config%jdbcbc\_sample.properties dsadm コマンドで JDBC データソースを登録するためのプロパティファイルです。
- ・ 11%artifacts%jdbcbc\_sample\_SA.zip JDBC-BC のサービスアセンブリです。
- ・ 11%clients%jdbc\_client.zip データメンテナンス用のアプリケーションです。

### 1.1.2. ドメインの起動

#### ドメインの起動

ドメインが起動されていない場合は、起動してください。

```
otxadmin> start-domain domain1
```

### 1.1.3. アプリケーショングループとプロセスグループの作成と起動

WebOTX AS の Standard Edition または Enterprise Edition で、マルチプロセスモードにて ESB をご利用になる場合、アプリケーショングループとプロセスグループを作成します。

#### アプリケーショングループの作成

アプリケーショングループを作成します。

```
otxadmin> login --user admin --password adminadmin
otxadmin> create-apg apg1
Command create-apg executed successfully.
```

#### プロセスグループの作成

プロセスグループ(JBI コンテナ用)を作成します。

```
otxadmin> create-pg --version 7 --kind j2ee --apgroup apg1 pg1
Command create-pg executed successfully.
```

## JBI コンテナの有効化

プロセスグループ起動時に JBI コンテナを起動するように設定します。

```
otxadmin> set tpsystem.applicationGroups.apg1.processGroups.pg1.  
enabledJBIContainer=true
```

(※) 改行していますが実行する際は、1行で記述して実行してください。

## アプリケーショングループ プロセスグループの起動

作成したアプリケーショングループを起動します。

```
otxadmin> start-apg apg1  
Command start-apg executed successfully.
```

### 1.1.4.JDBC データソースの登録

#### JDBC データソースの定義変更

実際の環境に合わせて、jdbcbc\_sample.properties の次の内容を修正してください。

```
dataSourceName=  
userName=  
password=
```

#### JDBC データソースの登録

JDBC データソースを登録します。

```
> dsadm bind jdbcbc_sample.properties
```

(\*) ポート番号 6212 の domain1 以外に接続する場合は、dsadm コマンドの -url、-user、-password オプションで適切な値を指定してください。

### 1.1.5.サービスアセンブリの配備と開始

#### サービスアセンブリの配備

jdbcbc\_sample\_SA.zip があるディレクトリで、以下のコマンドを実行します。

```
>jbiadmin.bat --user admin --password adminadmin --port 6212 deploy-service-assembly  
jdbcbc_sample_SA.zip apg1 pg1  
Deployed Service Assembly jdbcbc_sample_SA
```

(\*) --port には該当ドメインのポート番号を指定してください。アプリケーショングループ名とプロセスグループ名は、WebOTX AS Standard Edition または Enterprise Edition で、マルチプロセスモードにて ESB をご利用になる場合にだけ指定してください。

#### サービスアセンブリの開始

配備したサービスアセンブリを開始します。

```
> jbiadmin.bat --user admin --password adminadmin --port 6212 start-service-assembly  
jdbcbc_sample_SA  
Started Service Assembly jdbcbc_sample_SA
```

(\*) --port には該当ドメインのポート番号を指定してください。

## 1.1.6.クライアントアプリケーションのコンパイルと実行

クライアントアプリケーション

clients¥jdbc\_client.zip

を展開してください。

### ファイル構成

- ・ compile.bat コンパイル実行バッチです。
- ・ run.bat クライアント実行バッチです。
- ・ src¥SampleClient.java クライアントのソースです。
- ・ class¥SampleClient.class クライアントのクラスです。
- ・ SampleTable.sql データベースのテーブル作成用ストアドプロシージャ(参考)です。

### コンパイル

コンパイル、および、実行時に使用する JDK のコマンドが環境変数パスに追加されていない場合は、追加してください。

compile.bat を実行し、コンパイルを行ってください。

```
>compile.bat
```

### JDBC ドライバへのクラスパス修正

実際の環境に合わせて、run.bat の次の内容を修正してください。

```
@set WEBOTX_HOME=  
@set JDBC_DRIVER=
```

### 実行

クラスパスに class ディレクトリを追加した後、run.bat を実行し、プログラムを実行します。

```
>run.bat
```

起動後、次のメニューが表示されます。

```
-----  
Menu) 1.Create tables. (In/Outbound tables)  
      2.Insert a record. (Inbound table)  
      3.Select records. (Inbound table)  
      4.Select records. (Outbound table)  
      5.Delete records. (Inbound table)  
      6.Delete records. (Outbound table)  
      7.Drop tables. (In/Outbound tables)  
      9.End.  
Please select number?
```

1. Inbound/OutBound 用のテーブルを作成します。

```
Please select number? 1  
-----  
Created a table for Inboud successfully  
Created a table for Outboud successfully
```

2. Inbound で読み込まれるレコードを登録します。

```
Please select number? 2  
-----  
Inserted into a sample record successfully
```

3. Inbound 用のテーブルの内容を確認します。処理が完了したレコードは削除されます。

```
Please select number? 3
-----
12345 , Tokyo , suzuki taro , suzuki_taro@sample.co.jp , 11223344556

Please select number? 3
-----
Not Found Records
```

4. Outbound 用のテーブルの内容を確認します。処理が完了したレコードが追加されます。

```
Please select number? 4
-----
Not Found Records

Please select number? 4
-----
12345 , Tokyo , suzuki taro , suzuki_taro@sample.co.jp , 11223344556
```